

1. 科目名 (単位数)	外国語の指導法 (2 単位)	3. 科目番号	EDEL2321 SJMP2301
2. 授業担当教員	茂木 隆資		
4. 授業形態	講義、演習、ペア・グループ活動	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	現在、小学校3・4年生は、「外国語活動」に参加し、5・6年生は教科となった「外国語」の授業を受けている。そこで本講義では、外国語活動・外国語の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付けることを目標とする。児童期の第二言語習得理論を始めとする外国語教育に必要な理論を扱った後に、グループで模擬授業を体験することを通して、外国語の指導への理解を深め、教育現場への実践へと繋げていく。		
8. 学習目標	1. 小学校外国語教育に関する背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができる。 2. 児童期の第二言語習得の特徴について理解することができる。 3. 授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付けることができる。 4. 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付けることができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	事前学習・事後学習を参照すること。 回が進むと、実際の授業を行うことを前提に指導案の作成 (主に展開部分) や教材の作成等も行ふ。必要な物については授業内で指示をする。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】吉田研作 (監修) 小川隆夫・東 仁美 (著) 小学校英語はじめる教科書 改訂版 外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー (改訂版であることに留意) 【参考書】 文部科学省 小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 【外国語活動・外国語編】 東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校外国語教育に関する背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解することができたか。 2. 児童期の第二言語習得の特徴について理解することができたか。 3. 授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付けることができたか。 4. 実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付けることができたか。 ○評定の方法 復習テスト 30% レポート課題 40% コースワーク (授業中の態度、言語活動参加度、模擬授業を含む。) 30%		
12. 受講生への メッセージ	実際に小学校で外国語・外国語活動の授業を行うためには、外国語を教える／習得することに関する基本的なことを理解していることが大事であるが、学校現場に導入が進んでいるタブレットコンピュータやデジタル教科書の活用も必要である。児童が楽しみながら体験的に英語に慣れ親しみ、能力を身に付けるには教材・教具を工夫し、歌やチャンツ、ゲームなども授業で用い、他の教科や学校生活との関連を図ることが大事である。本科目を履修するにあたっては実際に教壇に立つことを常に想像し、意欲的に学修に取り組み、創造的に頭を使うこと。単位の修得については本学の規定による。		
13. オフィスアワー	授業内 (初回の授業) で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、学習指導要領 (小・中・高) の目標と内容についての理解、授業観察	事前学習	小学校学習指導要領 (文部科学省, 2017) を読み、外国語活動・外国語・英語の目標と特徴を把握する。
		事後学習	教科書第一部 Unit 1 を読み、外国語活動・外国語の目標と特徴について復習する。
第 2 回	小・中の接続と小学校の役割	事前学習	教科書第一部 Unit 2 を読み、小・中・高等学校で一貫した英語教育の目標と小学校の役割について把握する。
		事後学習	主教材の趣旨、構成、特徴について、小・中・高等学校で一貫した英語教育の目標と小学校の役割について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第 3 回	児童や学校の多様性への対応	事前学習	教科書第一部 Unit 3 を読み、学習スタイルの多様化、授業の配慮事項等について学ぶ。
		事後学習	指導者の役割について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第 4 回	言語使用を通じた言語習得・音声インプット	事前学習	教科書第一部 Unit 4 を読み、言語習得・音声によるインプットの重要性和言語使用の必然性のある活動について考察する。
		事後学習	言語習得・音声によるインプットについて再度教科書の該当部分を熟読し復習する。

第5回	コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動、	事前学習	教科書第一部 Unit 5 読み、コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動と主体的、対話的で深い学びの実現について考察する。
		事後学習	コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第6回	音声から文字へと進むプロセス、国語教育との連携、題材の選定と教材研究	事前学習	教科書第一部 Unit 6 と 7 を読み、音声から文字へと進むプロセスと国語科との連携について考察する。
		事後学習	音声から文字へと進むプロセス、国語科との連携について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第7回	Classroom English, Small Talk, Teacher Talk	事前学習	教科書第一部 Unit 8 を読み、クラスルームイングリッシュを把握する。
		事後学習	Classroom English, Small Talk, Teacher Talk について、授業中の活動での位置づけなどについて再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第8回	読む活動から書く活動への導き方、学習指導案の作り方	事前学習	教科書第一部 Unit 9 を読み、文字言語への導き方について把握する。
		事後学習	文字言語への導き方について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第9回	学習到達目標と指導計画・学習指導案の作り方	事前学習	教科書の第一部 Unit 11,12 を読み、学習到達目標、指導計画、一時間ごとの指導案の構成について把握しておく。
		事後学習	実際に指示された単元について、指導計画、指導案の作成について構想を練る。
第10回	ALT 等とのチーム・ティーチング、ICT 等の活用の仕方	事前学習	教科書第一部 Unit 13 と 14 を読み、チーム・ティーチングと ICT 教材の活用方法を把握する。
		事後学習	チーム・ティーチングと ICT 教材の活用方法について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第11回	学習状況の評価、学習指導案の作り方	事前学習	教科書第一部 Unit 15 を読み、学習状況の評価について把握する。
		事後学習	学習状況の評価について再度教科書の該当部分を熟読し復習する。
第12回	模擬授業準備の最終確認と模擬授業	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第13回	模擬授業（授業観察・質疑応答・自己評価）	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第14回	模擬授業と本授業の目的の再確認とまとめ	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
第15回	模擬授業の評価・クラスディスカッション・総評、振り返り・授業改善	事前学習	模擬授業に向け、授業の流れの確認とリハーサルを行っておく。
		事後学習	模擬授業評価シートに、見学した授業の良い点と課題と対策を記入する。授業改善を行う。
期末試験			